

参考資料：岡山縣上道郡古都村史、現代古都の郷、ふるさと古都  
岡山史蹟めぐり（岡山市立西大寺公民館古都分館）、岡山市の地名

ほうのうづもう  
**奉納相撲**（古都学区 T さん資料より）

荒神様(こうじんさま)に奉納する、子供（小学生の男の子）の相撲。

荒神様→文字通り荒々しい神様で、祭神としては素戔嗚尊といわれています。素戔嗚尊は天照大神の弟で、乱暴が過ぎて高天原から追放され出雲に下ったといわれる、大変荒々しい神様です。

祟りを招きやすい怖い神様でもあり、きちんとお祀りすると災いを防いでくれるありがたい神様でもあります。

火の神様でもあるところからかつての台所にあった竈の神様ともいわれますが、この荒神様は祭られている場所からして鉄部落を守る、「地荒神」と思われます。

※荒神信仰→西日本特に瀬戸内海沿岸に多くみられ、岡山県には約200社あると、いわれています。

奉納相撲は、10月24日（秋の子祭り）の夜、災いを防いで豊作をもたらしてくれたことに感謝しておこなわれていました。

私の父親は明治生まれですが、子供の時、奉納相撲を取っていたといっていましたので、明治時代からあったものと思われませんが、現在は子供が減ったため残念ながら行われていません。

※私の子供、今年で32歳ですが、小学生の時は奉納相撲をとっていましたので、約20年前までは、確実に行われていました。